

**ヤマトホールディングス株式会社**  
**第145期第2四半期事業のご報告**  
 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)  
**をお届けします。**

当社では、企業の社会的責任として環境保護に積極的に取り組んでおります。事業のご報告の発送方法につきましても、封筒を使わずに宛名ラベルと開放部のテープのみで送付する環境に配慮した方式を導入しています。株主の皆様のご理解をいただきたくお願い申し上げます。

## 株 主 の 皆 様 へ



株主投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ヤマトグループは、宅急便事業を中心とするデリバリー事業を着実に拡大させながら、

これまで培ってきた経営資源をフルに活用してグループ全体の持続的成長をはかる事業戦略を遂行しています。この事業戦略に基づき、経営資源である強固な宅急便ネットワークに情報機能(IT)、物流機能(LT)、決済機能(FT)を融合させて、お客様の生活をより便利にするサービスを提供し、新しい価値の創造に積極的に取り組んでおります。

当第2四半期において、デリバリー事業は、積極的な提案営業の展開により宅急便数量の減少傾向に歯止めがかかったことに加え、前期より重点的に取り組んだ生産性向上の各施策が奏功し増益となるなど、収益構造の強化が着実に進みました。

また、デリバリー以外の事業においても、景気悪化の影響を受けた事業がある一方で、利便性の向上や業務の効率化、コストの削減を提供するヤマトグループ独自の高付加価値サービスは、お客様の潜在的な需要を喚起して順調に事業拡大を推し進めました。

その結果、当第2四半期の連結業績は以下のとおりとなりました。なお、当期より航空会社との運賃に係わる会計処理を変更したことに伴い、営業収益および営業費用が159億26百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益および四半期純利益に与える影響はありません。

(単位:百万円)

区 分	前第2四半期	当第2四半期	増減	伸率(%)
営業収益	619,986	580,431	△39,554	△6.4
営業利益	19,714	22,854	3,140	15.9
経常利益	20,403	23,967	3,564	17.5
四半期純利益	8,628	11,607	2,979	34.5

### <経営施策の取り組み状況>

- ヤマトグループは、昨年4月よりスタートした中期経営計画「満足創造3か年計画」に基づき、新しい価値の創造を通じて「豊かな社会の実現」に貢献する事業展開に取り組んでいます。さらに、成長著しいアジア地域において宅急便サービスを展開し、利便性を訴求することで事業を成長させる布石づくりを進めています。
- 「満足創造3か年計画」の2年目に当たる当期は、前期に発売を開始したさまざまなビジネスモデルをグループ間相互の連携によって広く営業展開した結果、お客様からのご好評をいただき事業の拡大が進みました。
- さらに、中国上海においてヤマトグループによる宅急便事業を展開するために、8月26日開催の取締役会にて中国の物流企業「上海巴士物流有限公司」を子会社化することを決議しました。きめ細かく高品質な宅配サービスの展開に加え、「クール宅急便」や「時間帯お届けサービス」など今まで中国に存在しなかった新しい価値を提供することで、上海で生活する人々の「豊かな社会の実現」に貢献してまいります。
- 株主の皆様への投資環境整備の施策としては、5月14日開催の取締役会にて投資単位の引下げを決議いたしました。これにより、10月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。今後も投資家層の拡大による株式流動性の向上をはかり、株主価値の向上に努めてまいります。

これからも、ヤマトグループの総合力を結集して、企業価値を向上させてまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長

瀬戸 薫

## CONTENTS

- 株主の皆様へ ----- 1
- 日本の宅急便からアジアの宅急便へ ----- 2
- 事業概況(連結) ----- 5
- 第2四半期連結財務諸表の概要 ----- 7
- 株式の状況/会社概要/株主メモ ----- 10